STIEBEL ELTRON

蓄熱式電気暖房器
取扱説明書
（取付説明書、保証書付）

型　名……●ETC-150TEJ
●ETC-220TEJ
●ETC-300TEJ

品　名……スタティック
ETC-TEJシリーズ

●本製品を安全に使用していただくために、取扱説明書本文に記載されている警告表示の部分は、製品をご使用する前によくお読みの上、正しくお使いください。
表示の内容は誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告　この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性、及び重大な物的損害の発生が予想される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性、及び物的損害の発生が予想される内容を示しています。

日本スティーベル株式会社

［目次］

●取扱説明書

●取付説明書

1 特長

●スタティックＥＴＣ－ＴＥＪシリーズには次の機能があります。

蓄熱量調節機能　操作部のボタン操作により、蓄熱量を自動調節（手動設定）します。

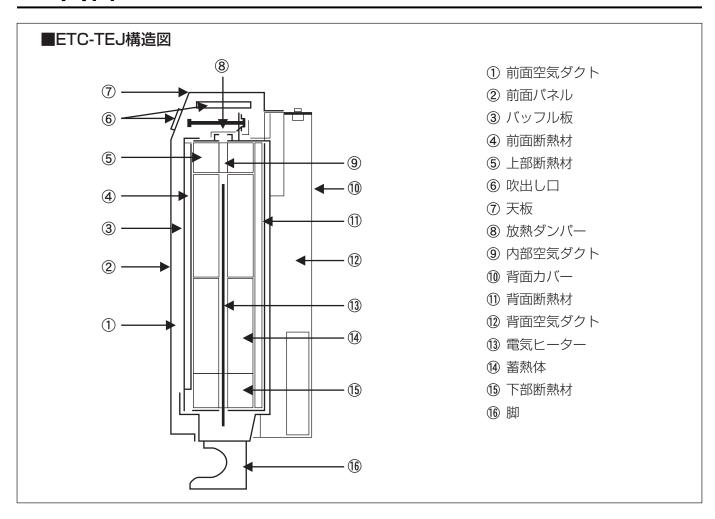
シーズンセンサー機能（オプション）　外気温の変動に応じて蓄熱量を自動調節します。

室温調節機能　放熱ダイヤル（手動設定）により、放熱量を内蔵バイメタルダンパーが自動調節します。

通電制御機能　任意に設定された蓄熱量を深夜時間帯の終了時刻までに完了するように蓄熱開始時間を移行します。

※スタティックＥＴＣ－ＴＥＪシリーズは、自然対流を主体とした放熱を行う蓄熱暖房器でファンが装着されておりません。このため、送風機による騒音発生はありませんが、放熱量の制御幅がファンを有するダイナミックタイプに比べて小さくなっています。したがって、急に暖かくしたり、一時的に放熱を停止させたりする使い方には向いておりません。常に一定の放熱を必要とするお部屋、廊下などのベース暖房や配管の凍結防止などの目的に大変優れた効果を発揮します。

※深夜電力契約で使用される場合は電気が供給されない時間帯はディスプレイ表示されず、設定変更を行うことができません。

2 各部のなまえ

3 安全上の注意

3－1. 取扱について

⚠ 警告　**安全のために次のことは必ずご使用の際お守りください。守らなかった場合、火災ややけどの恐れがあります。**

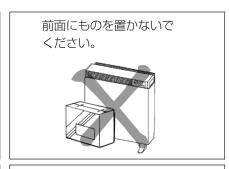
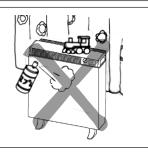
上部(天板)にものを置かないでください。

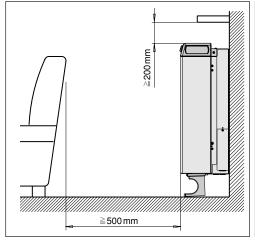
衣類などを本体にかけて乾かさないでください。

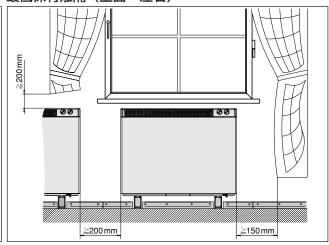
前面にものを置かないでください。

本体と壁のすき間にものを入れないでください。

本体に座ブトンや寝床を近づけないでください。

吹出口には触れないでください。

塗料・シンナーなど、引火性のものを近づけないでください。又、おもちゃ、カーテン等燃えやすいものをそばで使わないでください。

3－2. 離隔部分チェック

蓄熱暖房器は安全性には充分考慮して設計されていますが、より安全で快適に使用していただくために下記の点に注意してください。

最低保有離隔（上面・前面）

最低保有離隔（上面・左右）

※暖房器を隣接して設置する際は機器間の離隔を200mm以上設けてください。

蓄熱暖房器は、優れた快適性と安全性のために電気ストーブであることが忘れられ、その安全性が過信される場合があります。蓄熱暖房器の前でのお子様の悪ふざけや、乾燥機代わりに布団などをかけることは、けがや火災の原因となりますので絶対にやめてください。また、前項の離隔はあくまで安全性確保のための離隔です。木材の棚板を本体上部に設置した場合、材質や含水率により反りが生じることがありますので、ご注意ください。

3−3. 注意していただきたいこと

1. 水がかかったり、表面に結露が生じるような湿気の多い場所では使用しないでください（故障、事故の原因になります。）。また、室温30℃、湿度70%以上となる乾燥室などの熱源としては使用できません。
2. 本体は必ずしっかりと補強された水平な床の上に設置してください。
（重量物ですので 2 階以上に設置する際は、建築業者にご相談くださくい。）
3. 畳、じゅうたん、クッションフロアなどの上に設置するのは、絶対におやめください。
4. 壁固定と床固定により、本体がしっかりと固定されていることを確かめてください。本体が固定されていない場合は、お客さまセンターへご相談ください。
5. 万一の感電防止のために、①アース工事、②漏電遮断器設置工事、が行われていることを確かめてください。
6. 対流する上昇気流によるほこりなどによって壁面が変色する場合があります。壁紙などは、熱で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものを使用してください。
7. 棚下などに設置した場合は、合板又は木材の含水量によっては反る場合があります。またムクなど部材によっては変形する場合があります。
8. 設置後は、ご自分で動かさないでください。
9. 補強を行っていても震災、その他天変地変では、転倒する可能性もあります。
10. 暖房期間中に万が一転倒した場合は、①電源ブレーカを切ってください。②落下物がある場合は取り除いてください。③本体の周りから床等に水を流してください。④すみやかにお客さまセンターに連絡してください。
11. 機器の配置や間取り等の状況により実際には弊社で行った負荷計算の設計室温を前後する場合があります。
12. 故障等による二次的被害（電気代等）の補償は致しません。

4 操作部のはたらき

左側　放熱ダイヤル

放熱量を調節します

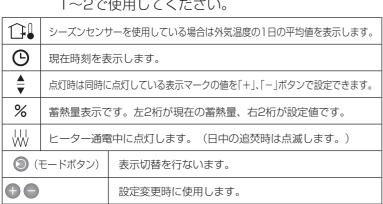
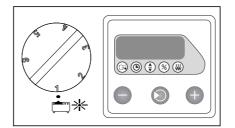
1〜6迄の数字が表示されています。

・**通常**　3〜4で使用してください。

・**少し寒いなと感じた場合**

5〜6で使用してください。

・**外出時など**

1〜2で使用してください。

右側　ディスプレイと操作パネル

蓄熱量を調節します

蓄熱量設定のモードにあわせると0〜100間のパーセンテージが表示されます。

・手動の場合は外気温に応じて、前日までに蓄熱量を設定してください。

※シーズンセンサーをご利用の方は設定の必要がありません。

※操作パネルは3段階で明るさを調節することが可能です。
「▲▼」が点灯していない状態で「＋－」で調整します。

アイコン	説明
（外気温マーク）	シーズンセンサーを使用している場合は外気温度の1日の平均値を表示します。
（時計マーク）	現在時刻を表示します。
▲▼	点灯時は同時に点灯している表示マークの値を「＋」､「－」ボタンで設定できます。
%	蓄熱量表示です。左2桁が現在の蓄熱量、右2桁が設定値です。
（ヒーターマーク）	ヒーター通電中に点灯します。（日中の追焚時は点滅します。）
（モードボタン）	表示切替を行ないます。
＋－	設定変更時に使用します。

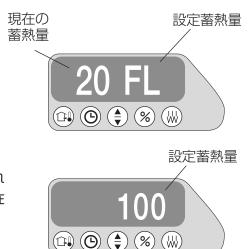
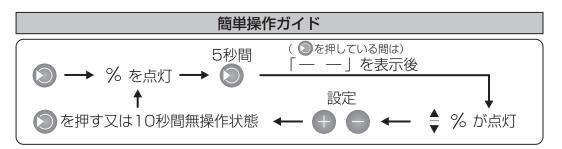
5 運転のしかた

5－1. 蓄熱量設定のしかた

■ シーズンセンサーをご利用の方は設定の必要がありません。
■ 翌日寒くなる時は高く、暖かくなる時は低く、前日に設定してください。
■ 蓄熱量の設定にはチャイルドロックがかかっています。下記の操作でチャイルドロックが解除されます。

（モードボタン）を押し、％を点灯させせます。
一瞬手を離し再び、（モードボタン）を5秒間押し続けます。（ディスプレイとアイコン表示が替わりますが ▲▼ ％が点灯するまで押し続けます。）
▲▼ ％ が点灯している状態で ＋ 又は － を押し設定します。
設定範囲は0～100%、10%単位で設定できます。

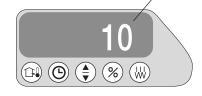
※現在の蓄熱量と設定蓄熱量が同時に表示され、蓄熱量が「FL」と表示された場合は100%を意味します。ただし、▲▼ ％ が点灯している場合は現在の蓄熱量は表示されません。
※現在の蓄熱量と設定蓄熱量が最大の時のみ「FULL」と表示されます。

簡単操作ガイド

シーズンセンサーをご利用の方へ

この機能は、外気温度を検知することで、蓄熱量を自動的に設定する機能です。
この機能をご利用の方は、蓄熱量を設定する必要がありません。
※シーズンセンサー機能をご利用の場合、手動での蓄熱量設定は行えません。

本機能をご利用かどうかは、以下の方法で確認することができます。

を押し、 ℃ を点灯させせます。

この状態で外気温度が表示されている方が該当となります。
※外気温度の平均値を表示します。

5－2. 放熱ダイヤルの使い方

コントロールパネル内のダイヤルが放熱ダイヤルです。
ダイヤルは右に廻すと放熱量が多くなります。
対流放熱量はダイヤルのセット「1」～「6」で決まります。寒い場合はダイヤルセットを高くして使用してください。
注）ダイヤルは放熱量の調節器でルームサーモスタットではありません。

室温設定に関するお願い

●本体前面50ｃｍ以内にものを置いたり、上部を覆ったりしますと暖房器自身の熱の影響を強く受け、室温が低いのに放熱ダンパーが作動しない場合が生じます。安全のためにも本体の前にはものを置かないようお願い致します。

●室温の設定は、お部屋の状況により変わります。一般に「3」～「5」で使用します。常に「6」にしないとお部屋が暖まらない場合は、お部屋に対してご使用の暖房器が小さく、午後や夕方に蓄熱が不足することがあります。
このダイヤルは「1」～「6」までの間、連続してセットできます。

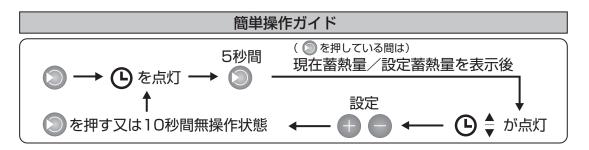
5－3. 現在時刻の設定のしかた

■ 現在時刻の設定にはチャイルドロックがかかっています。下記の操作でチャイルドロックが解除されます。

① を押し を点灯させます。

② を5秒間押し続けます。（表示が蓄熱量に切替わりますが、
そのまま押し続けてください。）

③ が点灯している状態で 又は を押し設定します。

簡単操作ガイド

※暖房器を使い始める前に現在時刻を確認してください。
現在時刻がずれている場合、上記手順で修正してください。

5－4. シーズンセンサーの設定（オプション）

下記の操作で下限値、最大畜熱時の外気温、蓄熱開始時の外気温度を設定することができます。

① を押し、 ℃ を点灯させます。

② ℃ が点灯している状態で を同時に5秒間押し続けて ℃ % を点灯させます。

③ 畜熱量下限値の設定
下限値の設定は、蓄熱開始時の最低畜熱量を求めるものです。
ディスプレイの左端に0と表示されます。
又は で、右側の数字を変更できます。（0～50の間で、1%単位で設定できます。）
設定後、 を押すと最大畜熱時の外気温度の設定へ移ります。

④ 最大蓄熱時の外気温度の設定
最大蓄熱時の外気温度の設定は、100%蓄熱となる外気温度を決めるものです。
ディスプレイの左端に1と表示されます。
又は で右側の数字を変更できます。（-30℃～10℃の範囲で設定できます。）
設定後、 を押すと畜熱開始時の外気温度の設定へ移ります。

⑤ 蓄熱開始時の外気温度の設定

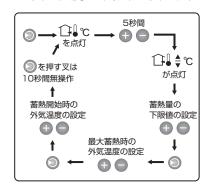
蓄熱開始時の外気温度の設定は、蓄熱開始時の外気温度を決めるものです。

ディスプレイの左端に2と表示されます。

＋ 又は － で右側の数字を変更できます。（0℃～25℃の範囲で設定できます。）

設定後、 を押すと設定した値が確定します。

※ 10秒間無操作状態が続くと表示されている数値で確定し、外気温度表示に戻ります。

※ シーズンセンサーは、過去24時間の温度測定を行いそれを平均化処理しますので、表示される外気温度と実際の外気温度が異なる場合もあります。

下限値 → 最大蓄熱時の外気温度 → 蓄熱開始時の外気温度 の順番に設定を行います。

地域や断熱性能によっては初期値では暑すぎる場合もありますので、お好みに応じて各設定を変更してください。

5－5. 暖房器を使い始めるまえに

毎年暖房器をお使い頂く前に、以下のことをご確認ください。

● 蓄熱暖房器専用ブレーカを入れてください

● 現在時刻の確認を行なってください。

※現在時刻がずれている場合は、時刻設定を行なってください（5ページ3参照）

試運転後はお好みの設定にしてください。

※シーズンセンサーをご利用の場合は蓄熱量設定は不要です。

（最初から蓄熱量設定を100%にしないでください。これは蓄熱暖房器内の湿気等を徐々に追い出すためのものです。）

6 日常の点検とお手入れ

「蓄熱暖房器」本体のお手入れ

● 通常は乾いた布で拭いてください。汚れがひどい場合は、適量に薄めた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き取ってください。

● 水を絶対にかけないでください。本体や操作部に水をかけて洗わないでください。（故障の原因となります。）

● シーズンイン、シーズンオフ時には本体及び周辺のほこりや異物を掃除機で取り除いてください。

⚠ 注意　ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどの使用は本体を傷めますので絶対に避けてください。

定期点検のお勧め（有料）

安心して、末永く快適にご使用いただくため、お買い上げより3年が経過した場合は、定期点検をお勧めいたします。なお、点検はお取付店、お客さまセンターまでご依頼ください。

こんな時は

●長期間使用しない場合は、電源ブレーカを切ってください。

7 故障かな？と思ったら

現　象	確認項目	処置方法
本体が暖まらない。	200Ｖ電源ブレーカが「入」になっていますか。	200V電源ブレーカを「入」にしてください。
	蓄熱量が設定されていますか。	設定蓄熱量を「60」以上に設定して蓄熱してください。（P4　参照）
	時刻が正しく設定されていますか。	正しい時刻に変更してください。
	本体が斜めに設置されていませんか。または表示が全て点灯していませんか。	お客さまセンターに連絡をして、床に対して水平に設置してもらってください。
本体は暖かいが部屋は暖まらない。	蓄熱が不足していませんか。	設定蓄熱量を「FL」に設定してください。（P4 参照） ※ 翌日までは暖まりません。
	暖房器の前を覆うように物を置いていませんか。	暖房器の前に置いてある物を取り除いてください。
	ドアや扉、窓等が開放となっていませんか。	ドアや扉、窓等を閉めてご使用してください。
出口から暖かい気流が出てこない。	放熱ダイヤルの設定が低くありませんか。	放熱ダイヤルを「4～5」にセットしてください。放熱ダイヤルの使い方（Ｐ4）をお読みください。
	蓄熱が不足していませんか。	設定蓄熱量を「FL」に設定してください。（P4 参照） ※ 翌日までは暖まりません。
	空気取り入れ口が詰まっていませんか。	「日常の点検とお手入れ」（Ｐ6）をよく読み、本体の清掃をおこなってください。
本体が熱すぎる。	蓄熱量が高くありませんか。	蓄熱量の設定のしかた（P4）をよく読み、蓄熱量の設定を下げてください。
	本体にカバーがかかっていませんか。	吹出し空気が入口に戻り、吹出し温度が高くなっています。カバーや異物を取り除いてください。
吹出し空気が臭う。	長時間停止していませんか。	長時間停止すると、ほこりや湿気で多少臭いがすることがあります。ほこりをとり、初日は十分に換気をしながら使用してください。
日中に通電マークが点灯している。	現在時刻を確認してください。	日中に通電マークが点灯すると昼間の割高料金が適用されます。 現在時刻を確認してください。 現在時刻が正常な場合は、お客さまセンターまでお問合せください。

次の場合は故障ではありません。

現　象	状　　態
夕方(午後)になると吹出し空気が暖かくない。	深夜放熱ダイヤルが「6」となっていた場合。 蓄熱量が低すぎた場合。 部屋の大きさに対して本体が小さい。
朝、本体が暖かくない。	電源ブレーカが「切」になっていた。 時刻設定がずれていた。 蓄熱量が低すぎた。 放熱ダイヤルが「6」となっていた。

8 点検および修理について

アフターサービス（点検・修理）を依頼される場合

●アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、それでも不都合があったり、あるいは不明な場合はご自分で修理せずに、お客さまセンターに連絡してください。

日本スティーベルお客さまセンター
フリーダイヤル 0120-146-497（固定電話のみ）
●携帯・ＰＨＳの場合 …… ☎022-727-5238

●アフターサービスをお申し付けの際は、以下の事項をお知らせください。

① 型式名
② 製造番号
③ 不都合の様子（例：放熱ダイヤルが動かないなど）
④ 取付年月日（保証書をご覧ください。）
⑤ お名前、ご住所、電話番号

補修用性能部品の最低保有期間について

●この器具の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するための部品です。

保証について

●本製品は、お取り付け日から1ケ年保証です。
但し、別添のユーザー登録をしていただきますと、該当の蓄熱暖房器に対し保証期間を1年間延長し、設置日より2年の保証とさせて頂きます。
（尚、ご登録頂いていない機器の保証期間は自動的に1年間とさせて頂きます）

●保証書は、販売店または施工店からお渡ししますので、必ず「販売店」又は「施工店」名、「お取り付け日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ保管してください。

●修理を依頼される場合、お客さまセンターにご連絡ください。保証期間であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行います。保証期間を過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理いたします。

⚠注意　お客様が分解、解体した場合には保証を受けられませんのでご注意ください。

ユーザー登録と個人情報取扱いについて

●ご登録頂きます個人情報は日本スティーベル株式会社においてユーザー登録、蓄熱暖房器に関する製品情報のご案内・アフターサービスに関するお知らせ、及びアンケートをお届けする目的で利用させていただきます。情報の送付の可否につきましては、選択することができます。

9 仕様

機種		ETC-150TEJ	ETC-220TEJ	ETC-300TEJ
電圧		200V		
周波数		50／60Hz		
消費電力		1.5 kW	2.25 kW	3.0 kW
最大蓄熱量		12.1 kW	18.1 kW	24.1 kW
幅 mm		585	815	1045
高さ mm		700		
奥行 mm		220		
総質量		88ｋｇ	129ｋｇ	175ｋｇ
蓄熱体質量		64ｋｇ	96ｋｇ	128ｋｇ
放熱能力		0.32～0.84 kW	0.44～1.26 kW	0.61～1.47 kW
蓄熱体数量		8	12	16
蓄熱体梱包数		4	6	8
蓄熱体品番		182150		
主要部品	ヒーター	高耐熱ステンレスヒーター　電力密度 3 W/cm²以下		
	蓄熱体	フェオライト		
	蓄熱体センサー	白金測音抵抗体		
	放熱ダンパー	バイメタル式		
	本体過熱防止器	手動復帰式過昇温防止器/自動復帰式過昇温防止器		
	電子基板	200V		
転倒回路遮断		本体転倒時回路遮断器（傾斜30°以上で全回路遮断）		
オプション(別売品)	シーズンセンサー	サーミスターセンサー		
	通信ケーブル	シーズンセンサーケーブル延長用　耐熱性105℃以上　耐寒性－20℃　難燃性		

●本品は、自然環境を考え全てリサイクルが可能な素材を使用しているＤＩＮ7728に基づくリサイクルマーク表示許可製品です。
●全ての紙製品は塩素を含まない再生紙を使用しております。したがって再々使用が可能です。
●メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年　月　日	電話（　　　　）

STIEBEL ELTRON

蓄熱式電気暖房器
取付説明書
（保証書付）

型　名…… ●ETC-150TEJ
●ETC-220TEJ
●ETC-300TEJ

品　名…… スタティック
ETC-TEJシリーズ

取付工事店様へ

●この機器を正しく安全にお客様に使用していただくために、この取付説明書とともに取扱説明書をよくお読みのうえ、取付説明書の内容に沿って正しく取付けてください。
●施工上の責任は当社では負いかねますので、万一施工上に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定により修理していただくようお願いいたします。
●取扱説明書の保証書に販売店及び取付日等の必要事項が記載されていることを確認してください。
●工事終了後は取扱説明書（保証書付き）及び取付説明書を必ずお客様にお渡しください。手渡しできない場合は、蓄熱暖房器の天板に置くなど必ずお客様に渡るようにしてください。

お客様へ

●取付説明書に記載されている事項は取付工事店に対するものです。記載されている内容は必ず専門業者におまかせください。

1 各部のなまえ

P.1の図を参照してください。

2 部品の確認

次の部品があることを確かめてください。

1. ETC - TEJ本体
2. 取扱説明書、取付説明書一冊
3. 蓄熱体
4. 背面、床固定用ネジ（4本）、ワッシャー（4枚）

型　式	ETC-150TEJ	ETC-220TEJ	ETC-300TEJ
蓄熱体の数	8	12	16
梱包の数	4	6	8

3 標準仕様

型　式		ETC-150TEJ	ETC-220TEJ	ETC-300TEJ
電源		200V、1φ、50／60Hz		
ヒーター容量		1.5kw	2.25kw	3.0kw
ヒーター電流（ブレーカ容量）		7.5A（15A）	11.25A（15A）	15A（20A）
ヒーターケーブル		2.5SQ		
寸法（m/m）	A	425	565	795
	B	74	119	119
	H	700		
	W	585	815	1045
	D	220		

4 取り付け前の注意

⚠ **警告**　安全に設置し、使用していただくために下記の点を守って設置してください。（守らなかった場合、火災や感電のおそれがあります。）

⚠ **警告**　電気製品ですので、水がかかったり表面に結露を生じるような湿気の多い場所での使用は避けてください。（故障や感電のおそれがあります。）

⚠ **警告**　電源および消費電力、電流を銘板で確認し、必ずこれに適した配線をしてください。（ショート、火災のおそれがあります。）

⚠ **警告**　アースは、第3種接地工事を行ってください。漏電ブレーカを設置してください。（感電のおそれがあります。）

⚠ **注意**　本体は必ず固定してください。（地震による転倒でケガをするおそれがあります。）

●設置場所の選定にあたっては必ず背面固定や床面固定のできる場所を選んでください。(転倒のおそれがあります。)

⚠ 床固定、壁固定をせず転倒した場合は、施工者責任となります。また下地が無い場所に固定した場合も同様です。

●メンテナンススペースをとってください。

●配線は最短の長さにして、周囲であそびをとらないでください。

●部屋の大きさに対して機種の選定が適当であることを確認してください。機種の選定を誤ると、暖房器として機能しないことがあります。(暖まりません。)

⚠ **警告**　本体は必ずしっかりと補強された水平な床の上に設置してください。
畳、じゅうたん、クッションフロアなどの上に設置するのは、絶対におやめください。

⚠ **警告**　以下の離隔は必ず守ってください。可燃物との離隔をとってください。（火災のおそれがあります。）

<table>
<tr><th colspan="2">設置</th><th>可燃物</th><th>不燃物</th><th>備考</th></tr>
<tr><td colspan="2">本体前面</td><td>500mm以上</td><td>500mm以上</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">左側面</td><td>150mm以上</td><td>150mm以上</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">右側面</td><td>150mm以上</td><td>150mm以上</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">上　面</td><td>200mm以上</td><td>200mm以上</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">カーテンなど全ての繊維</td><td>200mm以上</td><td>200mm以上</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">他の蓄熱暖房器との間隔</td><td>200mm以上</td><td>200mm以上</td><td>熱影響による誤動作を防ぐため</td></tr>
<tr><td rowspan="3">収納設置</td><td>上　面</td><td>200mm以上</td><td>200mm以上</td><td rowspan="3">上部及び背面に不燃ボード(10mm以上)を使用してください。</td></tr>
<tr><td>左側面</td><td>150mm以上</td><td>150mm以上</td></tr>
<tr><td>右側面</td><td>150mm以上</td><td>150mm以上</td></tr>
</table>

対流する上昇気流によるほこりなどによって、壁面が変色する場合があります。壁紙などは熱で変色しないもの、防災仕様のもの、清掃可能なものを使用してください。

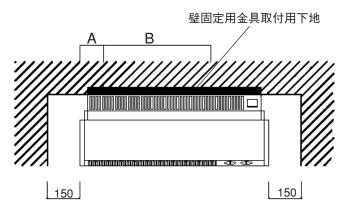
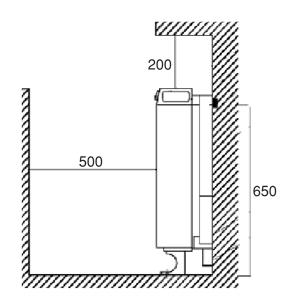
5 標準施工図

2009.9.29

5－1. 電気配線

●電気配線は本体下部であそびがないように施工してください。

5－2. 壁面への取付け

●壁面には同梱のネジとワッシャーを使用してください。
※（プラスターボード等の厚みにより）同梱のネジでは長さが不足する場合は、直径6mmの適切な長さのネジをご用意ください。

※暖房器を隣接して設置する際は機器間の離隔を200mm以上設けてください。

壁面固定金具寸法表

型　　式	A（mm）	B（mm）
ETC－150TEJ	172	230
ETC－220TEJ	172	460
ETC－300TEJ	172	690

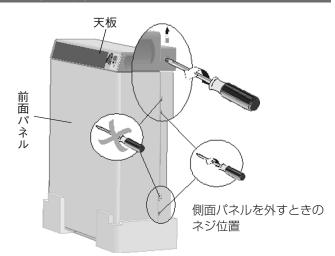
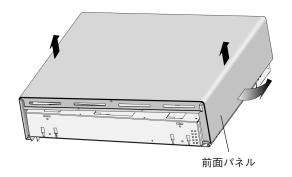
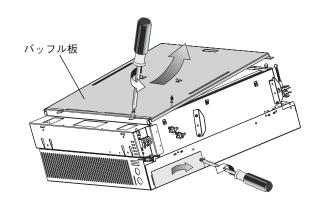
5－3. 床固定

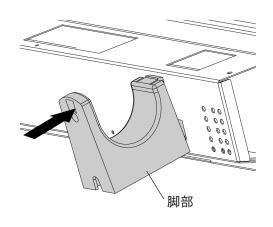
●同梱のネジとワッシャー若しくは直径6mmの木ネジまたはホールアンカーを用いて固定してください。
●収納設置でホールアンカーを打つ場合は上部の余裕を十分にとってください。
　蓄熱体を組み込む前に
　①リード線の壁面からの取り出しおよび接続　②本体の固定を完了させておいてください。

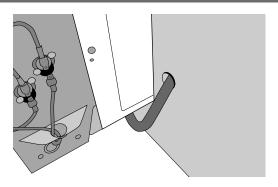
6 施工方法

6－1. 本体パネルの取り外し

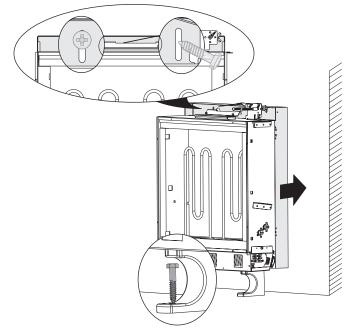
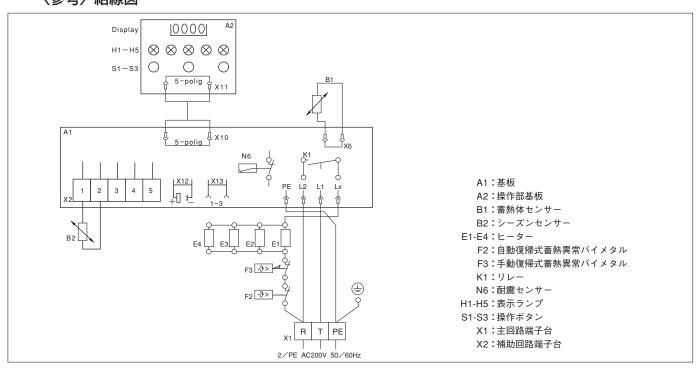
①天板パネルの取り外し
天板の上面全てのネジ及び側面ネジ左右各 1 本を外し、天板自体を前にスライドさせて外します。
⚠ スライドさせる際は天板を慎重に前へ移動し、操作部裏側に接続してあるケーブルを抜いた後、取り外してください。

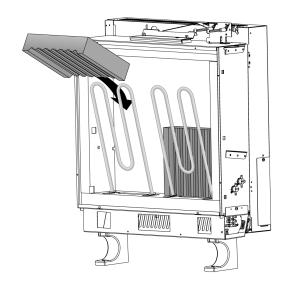
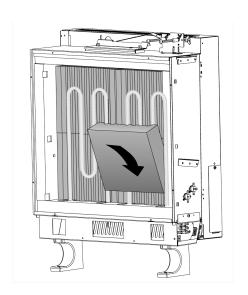
前面パネルの側面、上下 2 箇所のそれぞれ下方のネジのみを外します。
また、前面下部のネジ 2 箇所も外します。

②前面パネルを向かって右側から開くように取り外します。

③その後、前面バッフル板（内部鉄板）も外しておきます。
バッフル板を外すと、内部に脚部が収納されています。

6－2. 脚部取り付け

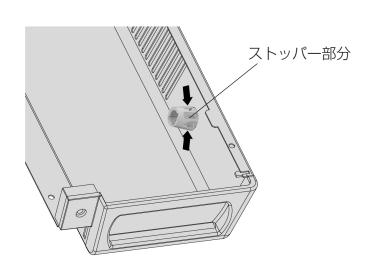
脚部はネジを使わず、後部をスライドして挿入後、前部をはめ込んで固定します。

6−3. 本体の固定

耐熱ケーブルが本体下部に接続されています。
位置を決定し、屋内配線と接続してください。
アース線は緑と黄のストライプです。

背面及び床面を固定します。（同梱のネジまたは直径6mmの適切な長さのネジとワッシャーを使用し、背面･床面各2か所すべてを確実に固定してください。）

※必ず壁面と床面での固定を行ってください。

※本体パネル取り付け前に必ず端子台の増し締めを行ってください。（本体輸送の際に緩み、短絡や結線が外れるといった問題が生じることがあります。）

〈参考〉結線図

6−4. 蓄熱体の組み込み

蓄熱体の溝を前方にして背面側から組み込みます。
蓄熱体組み込みの際、ヒーターを前方に傾けることができます。蓄熱体の溝を後方にして前面側にも組み込みます。
右側面の断熱材と蓄熱体の間に隙間が生じないように蓄熱体をしっかり右に詰めて組み込んでください。
組み込み終了後、前面バッフル板を取り付けます。

6−5. パネル・ダイヤルの取り付け

前面パネルを取り付けます。
天板パネルの放熱ダイヤルを「1」の位置にセットします。
放熱ダイヤル用のシャフトを反時計回りにめいっぱい回しておきます。
⚠ **操作部裏側にケーブルを接続した後、天板を取り付けます。(ケーブル類に傷がつかないよう注意してください。)**
天板を取り付けた後、ダイヤルを取り付けます。

7 試運転の手順

※ お客様のお引渡し前に必ず試運転を行なってください

時刻

現在時刻を表示しています。
「モード」ボタンで5秒間押すことで、時刻を変更できるようになります。

設定表示

点灯中は、同時に点灯している表示マークの値を「＋」、「－」ボタンで設定できます。

現在の蓄熱量／設定蓄熱量

左 2 桁が現在の蓄熱量、右 2 桁が設定蓄熱量を表示しています。

外気温度

シーズンセンサーを使用している場合は外気温度を表示します。

ヒーター表示

蓄熱時に点灯します。
（追焚き時は点滅）

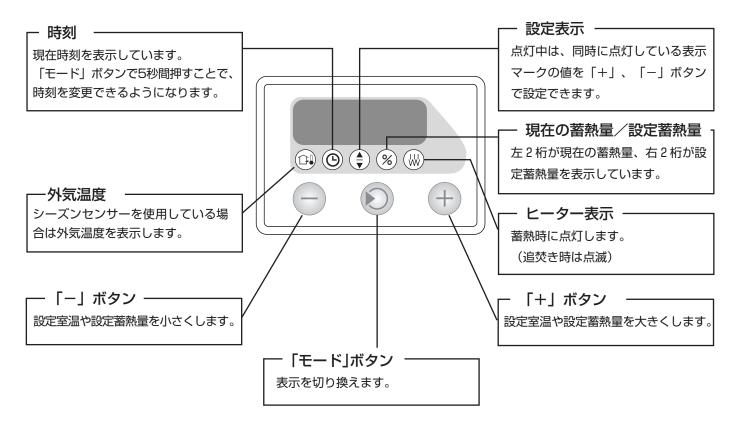
「－」ボタン

設定室温や設定蓄熱量を小さくします。

「＋」ボタン

設定室温や設定蓄熱量を大きくします。

「モード」ボタン

表示を切り換えます。

追焚操作を行い、電流値を確認してください。

① 200Ｖのブレーカを「入」にして蓄熱暖房器に電源を供給してください。
②蓄熱量の設定を100 %にしてください。
③「＋」と「モード」ボタンを同時に3秒以上押して、蓄熱の表示が点滅することを確認してください。
④電圧と所定の電流が流れていることを確認してください。
⑤「－」と「モード」ボタンを同時に3秒以上押して、蓄熱の表示が消えることを確認してください。
（試運転終了後は必ず追焚操作を終了してください。）

シーズンセンサーを接続している場合の試運転

※外気温度が高い場合は、シーズンセンサー又は、通信ケーブルを外さないと蓄熱動作を確認できません。

「モード」ボタンで「外気温度」を表示させた場合に、数値を表示している。

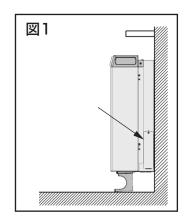
端子台「Ｗ１」「⊥Ｗ２」接続したシーズンセンサー又は、端子台「Ｗ４」「⊥Ｗ５」に接続した通信ケーブルを外してから試運転をしてください。

こんな時は	確認項目	処置方法
蓄熱しない。	シーズンセンサーを 使用していませんか。	シーズンセンサーを一度外して、再度蓄熱してください。 ※シーズンセンサーの異常ではありません。
	蓄熱量の設定が低く ありませんか。	蓄熱量の設定を高くしてください。
	本体が傾いていませんか。	床面に対して垂直に固定してください。
	200Ｖの電源が 供給されていますか。	200Ｖの電源を供給してください。
	電子基板のコネクタが 抜けかけていませんか。	抜けているコネクタを差し込んでください。
	端子台のケーブルが 抜けていませんか。	結線図を参考にしてケーブルを接続してください。
	端子台のケーブルが 緩んでいませんか。	全ての端子台の増し絞めを行ってください。
	自動復帰式過昇温防止器 が切れていませんか。	自動復帰式過昇温防止器に導通がない場合は交換してください。
	手動復帰式過昇温防止器 が切れていませんか。	手動復帰式過昇温防止器を復帰させた後、他の部品に異常が ないかを確認して通電してください。
電流値が基準値に 当てはまらない。	ヒーターの抵抗値を 確認してください。	ヒーターの端子を片方外し、抵抗値を確認してください。
ブレーカが落ちる。	絶縁抵抗を測ってください。	１ＭΩ以上であることを確認してください。
	内部配線が、端子や本体に 触れていませんか。	触れている部分を離してください。
	内部配線をどこかに 挟んでいませんか。	挟まっている部分を外してください。
	電源の接続を間違って いませんか。	アース線が正しく接続されているか確認してください。
	ブレーカの容量を 間違っていませんか。	適切な容量のブレーカを使用してください。
表示部が点滅する。	時計のバックアップ用の電 池が入っていますか？又は 電池が切れかけています。	電池の向きが正しいか確認してください。
		時計のバックアップ用の電池を交換してください。
表示部が全点灯 している。	地震センサーが 働いていませんか。	蓄熱暖房器を床に対して垂直に設置しなおしてください。 電子基板が正しく固定されているか、確認してください。

8 シーズンセンサー機能を使用する場合(オプション)

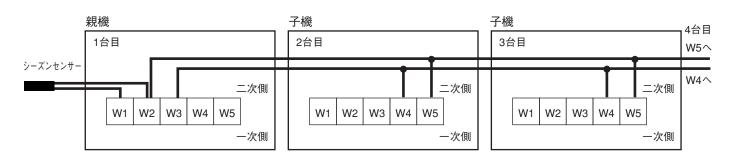
●ETC-TEJシリーズには、シーズンセンサーは標準付属していません。
●ETS-TシリーズやETT-Tシリーズと共に制御する場合は、ETC-TEJは子機専用となります。（他暖房器からの通信ケーブルを接続します。）
●結線10台以下の複数台制御を行う場合は、パラレル接続を推奨します。

本体右側面下部のネジを外し、プレートを取り外してください。
（図１参照）

⚠ **注意　極性がありますので、接続を誤ると正常に動作しません。**

シーズンセンサーの配線接続について

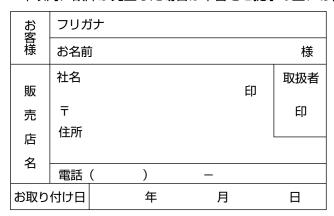
・パラレル接続

親機（1台目）から子機への接続（極性あり）
親機「W2」→子機「W5」
親機「W3」→子機「W4」
（接続を誤ると、子機は手動操作になってしまいます。）

子機間の接続
子機「W4」→子機「W4」
子機「W5」→子機「W5」

親機（1台目）のブレーカーをOFFすると、シーズンセンサーの信号は子機へ伝わらなくなりますので、暖房シーズンの最後まで使用する機器を親機にすることをお勧めします。

保 証 書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。お取り付け日から1年以内に故障が発生した場合は本書をご提示の上、お客さまセンターに修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ		
	お名前 様		
販売店名	社名 印 〒 住所	取扱者 印	
	電話（　　）　－		
お取り付け日	年　月　日		

型　名	ETC－150TEJ ETC－220TEJ ETC－300TEJ	
製造番号	－　－	
保証期間	本　体	お取り付け日から1ヶ年

本製品は、お取り付け日から1ケ年保証です。
但し、別添のユーザー登録をしていただきますと、該当の蓄熱暖房器に対し保証期間を1年間延長し、設置日より2年の保証とさせていただきます。（尚、ご登録頂いていない機器の保証期間は自動的に1年間とさせていただきます。）

★お客様へ
この保証書をお受けとりになるときは、お取り付け年月日、販売店名が記入され、捺印がされていることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
この保証書は、本書に明示した期間、次の条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

★保証書にご記入頂いた個人情報について
保証書（写）にご記入頂いた個人情報は、保証期間内のアフターサービス活動及び保証期間以降の安全点検活動のために、記載内容を利用させて頂く場合がございますので予めご了承ください。

（無料修理規定）
1. 取扱説明書、本体貼り付けラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お客さまセンターにご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
3. ご転居など、取り付け場所を移動する場合は予めお客さまセンターにご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
   (A) 使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
   (B) お取り付け後の移設及びお取付け説明書に基づいた取り付けがなされてなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
   (C) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）・塩害・異常電圧による故障及び損傷の場合。
   (D) 指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷
   (E) 一般の建物以外（例えば車輌・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
   (F) 砂やごみ及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
   (G) 本書の提示が無い場合、お客様名、販売店名、お取り付け日の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社